

第10回津別町議会定例会『行政報告』

本日ここに第10回定例会を招集いたしましたところ、議員各位には極めてご多忙のところご出席賜り、厚く御礼申し上げます。

ただいま発言のお許しをいただきましたので、第8回臨時会後の行政報告を申し上げます。

はじめに、誠に残念な報告ではありますが、去る11月13日、瑞宝単光章、津別町自治功労者 標 義男様をご逝去されました。故人は、半世紀の永きにわたり、津別町統計調査員を務められ、本町の自治振興に多大なご貢献をいただきました。

また、去る11月14日、旭日単光章、津別町消防功労者 清水勇様をご逝去されました。故人は、永きにわたり、消防団員として消防の職に奉じ、副団長も務められ、地域住民の安全安心にご尽力をいただきました。

また、去る12月10日、津別町消防功労者 板倉 一様をご逝去されました。故人は、永きにわたり、消防団員として郷土の防災に努められ、その責任ある行動は他の団員の模範となり、団の円滑な運営にご尽力をいただきました。

お三方の生前中の数々のご功績に対し、衷心より敬意と感謝を申

申し上げますとともに、安らかなご冥福をお祈り申し上げる次第であります。

次に、**全国肉用牛枝肉共励会優秀賞の受賞**についてであります。一般社団法人東京食肉市場協会と東京食肉市場株式会社の共催による、令和3年度全国肉用牛枝肉共励会が、10月26日から29日にかけて東京都中央卸売食肉市場で開催され、つべつ和牛の生産者である津別町字大昭 迫田 隆様が出品した肥育牛が、和牛去勢牛の部において津別町初となる優秀賞3席を受賞しました。

この快挙に対しお祝いを申し上げますとともに、今後とも安全安心で良質な肉用牛の生産と畜産振興に寄与していただき、更なる上を目指しご精進されることを期待するものであります。

次に、「道の駅あいおい」のクマヤキについてであります。11月4日、国土交通省北海道開発局が発表した北海道の「道の駅」スタンプラリー2020の完走者が応募したアンケート結果において、「いちおしの“おいしいもの”」部門で、前年度のランキングを一つ上げる堂々の2位に選ばれました。今後は、別の部門においても上位となり、「道の駅あいおい」が津別町への誘客の拠点の一つとなることを期待するものであります。

次に、令和3年度 北海道国民健康保険団体連合会表彰についてで

ありますが、11月17日、津別病院院長の日下貴^{たかふみ}文様へ、北海道国民健康保険団体連合会理事長に代わり、表彰状の授与・伝達式を行いました。日下様は、丸玉木材株式会社津別病院の医師、副院長、院長として長年にわたり、住民の診療に精励され、地域医療の充実に尽力するとともに、国民健康保険事業等の円滑な運営に多大な貢献をされたことにより受賞されたものであります。

今回の受賞に対し、お祝いを申し上げますとともに、多くの町民の健康のため、引き続きのお力添えをお願いしたところであります。

次に、^{にいみなんきち}新美南吉童話賞最優秀賞の受賞についてであります。愛知県半田市教育委員会主催による第33回^{にいみなんきち}新美南吉童話賞の審査結果が11月30日に発表され、本町の地域おこし協力隊員である^{こづかしょうこ}小塚翔子さんの応募した作品「雪虫」が、最優秀賞（文部科学大臣賞）を受賞しました。新見南吉童話賞は、創作童話を対象とする新入文学賞で、小塚さんの作品は応募総数1,800点の中から最高位である栄冠に輝きました。

小塚さんは、令和2年4月より地域おこし協力隊員として就任し、北海道つべつまちづくり株式会社において、移住・定住サポートデスクを担当する傍ら執筆を続け、今回の栄えある受賞となりました。

この快挙に対しお祝いを申し上げますとともに、更なるご活躍に期待するものであります。

次に、令和2年国勢調査結果についてであります。5年ごとに行われる国勢調査は、10月1日現在の人口をはじめとする諸調査を60の調査区に分け、40名の調査員と6名の指導員により行われました。本町の人口は、6月の速報値では4,369人でしたが、11月30日に公表された確定値では4,373人となり、世帯数は速報値と変わらず2,043世帯で、前回調査の平成27年に比べ、人口は635人、12.7%減少し、世帯数は188世帯、8.4%の減少となり、残念ながら津別町人口ビジョンの予想を上回る結果となりました。

なお、回答の手段では、インターネットが31.2%、郵送が49.9%であり、時代を反映したものとなりました。調査にご協力いただきました町民の皆さまと、調査に従事されました調査員及び指導員の方々に深くお礼を申し上げる次第であります。

次に、高齢者に対するお祝いについてであります。12月2日、
しゅうでん かずこ
修田 籌子様が、100歳の誕生日を迎えられましたことから、今後とも益々のご健勝を願い、記念品を贈り祝意を表したところです。

次に、丸玉木材株式会社からの寄附についてであります。12

月6日、丸玉木材株式会社を訪問し、寄附を原資とした丸玉木材森づくり基金の運用状況についての報告を行いました。その際に大越社長より、町への寄附は令和3年度までとされていたが、引き続き3年間、毎年500万円の寄附を継続するとの申し出がありました。

改めて丸玉木材株式会社に感謝の意を表しますとともに、今後とも丸玉木材森づくり基金による愛林のまち緑資源を守る推進事業を継続し、本町で実施する造林や除間伐などの森林整備事業に助成を行い、豊かな森林の育成に努めて参ります。

次に、**建設工事等の発注状況**についてであります。12月10日現在

○ 一般土木工事関係については、上最上橋橋梁補修工事 他30件
359,603千円(100.0%)

○ 一般建築工事関係については、堆肥製造施設堆肥舎一部改修兼
高圧通気システム導入工事 他17件
560,282千円(99.7%)

○ 簡易水道・下水道工事関係については、活汲地区マンホールポンプ所機械設備更新工事 他14件
425,920千円(100.0%)

○ 設計等委託業務関係については、南郷橋外1橋橋梁補修設計業務

他 28 件

116,259 千円 (100.0%)

であり、令和 3 年度予算分について総額 1,462,064 千円で 99.9%の発注率となっており、一般建築工事については一部を残し、発注を終了したところです。

なお、今議会におきまして、条例制定及び補正予算等の議案を提出いたしますので、慎重にご審議の上、原案にご協賛賜りますようお願い申し上げます。